

2016年度 第1回インストラクター研修会を開催

2016年度第1回インストラクター研修会を4月23日に桂市民センターで開催しました。

県内の審判員の指導法についてチームをまとめることを目的とした「チームビルディング」や緊張をほぐす「アイスブレイク」を参加インストラクターで実践しました。また、東北F.A.の中における宮城県の審判員の課題や、立ち位置、今後の強化方針についての情報共有を行いました。



鮎貝志保 S級インストラクターコメント

今回の研修会では、チームビルディング、『仲間が思いを一つにして、一つのゴールに向かって進んでゆける組織づくり』の一例を紹介しました。チームに対してどのような行動をとることが重要かを学び、その中で他者との関わり方やコミュニケーションのあり方について自己認識し、「チームとして成果に向かうこと」の重要性に気付くことができる内容です。ぜひインストラクターの皆さんにはシーズンの開幕前や初めて顔を合わせて研修会を行うような場合、またはリーグが中断するような時期に活用していただければと思います。

平塚 博之 2級インストラクターコメント

今回の研修会では、初めに鮎貝S級インストラクターにより、女子1級の方々を対象としたスキルアップのための研修会として使用した題材をもとに、審判チームの一体感を持って選手を支えていく和・輪・我の講義と、あるホテルのホスピタリティと接客マナーを題材として審判員の印象や心遣い、それを行うためのRPGの実践について講義を受けました。、最近必須となっているアイスブレイクを用いながら楽しく、また分かりやすく情報を共有できる内容でした。(そのため個人として、すぐに利用させていただきました。)

今回の研修会で思ったことは、我々が指導している最近の若手審判員は、JFAや地域トレセン・PR等による指導など、インストラクターと同様もしくはそれ以上に数多くの機会に指導されています。その審判員に対しての指導効果を高めるためにも、このような研修会でされる講義や指導内容をインストラクターが理解、情報共有し、一貫して指導を行うことが重要であると認識しました。そのために、我々インストラクターも審判員とともに、日々精進することが、必要であると再認識しました。この研修会で教わったこと糧に今後、宮城県から一人でも多くの上級審判員を輩出するための一助になれるよう頑張っていきたいと思えます。

大平 俊明 2級インストラクターコメント

今回の研修会は、前半に鮎貝インストラクターによる、アイスブレイク(緊張ほぐして、その場にふさわしい雰囲気づくり)を導入して研修会のテーマである【一つの成果に向かう】を実技を交え指導していただきました。グループによる実技指導のポイントとしては、一人一人がどのような行動をとることが重要かを考えさせ(我) → 仲間と協力、団結して、達成する(輪)ことを導き出し、審判員に対して【人間力、チームワーク】の重要性を指導することの必要性を再確認しました。また、審判員の行動・振舞に通じる点が多い『ホスピタリティと接客マナー』についても講義していただき、『第一印象の重要性』と『クレームに対する初期対応の重要性』について、サッカー審判員に通じる点が多いことを再認識させていただきました。後半は加藤委員長より【東北の強化審判員の育成、今後の審判員の育成、東北の審判員の現状と課題】について講義いただきました。今後の宮城県における審判育成の目標と全国から見ての東北の現状が再認識できたことにより、我々が日頃指導している若手審判員に対して指導すべきポイントが今回の研修会に参加したインストラクターの中で共有・確認できたことは今後指導していく上で非常に有意義であったと思えます。改めてJFAなどが行っている指導を理解し一貫した指導を行っていくことが重要となっていきます。そのためにも、我々インストラクターもこの研修会で教わったことを理解・吸収することが今後の若手審判員に対する指導の向上につながっていくものと思えます。これからもインストラクター活動を通して、一人でも多くの上級審判員を輩出できるように頑張っていきたいと思えます。